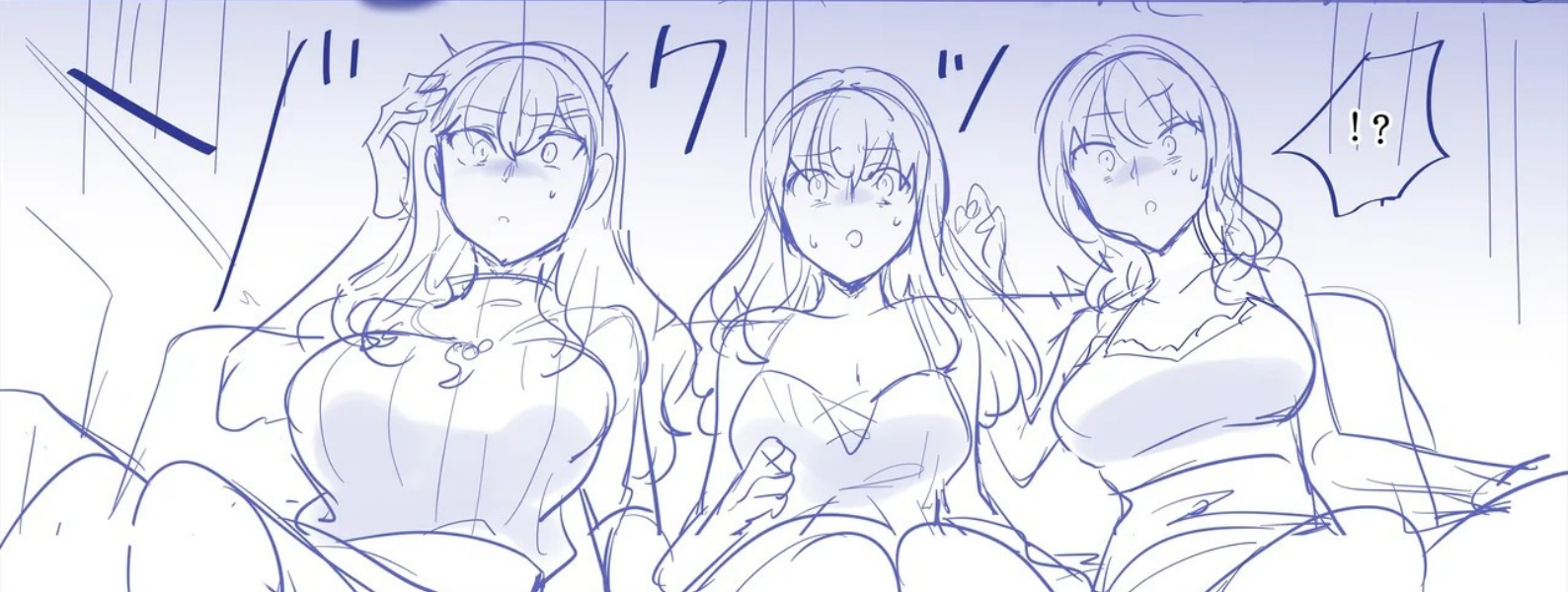
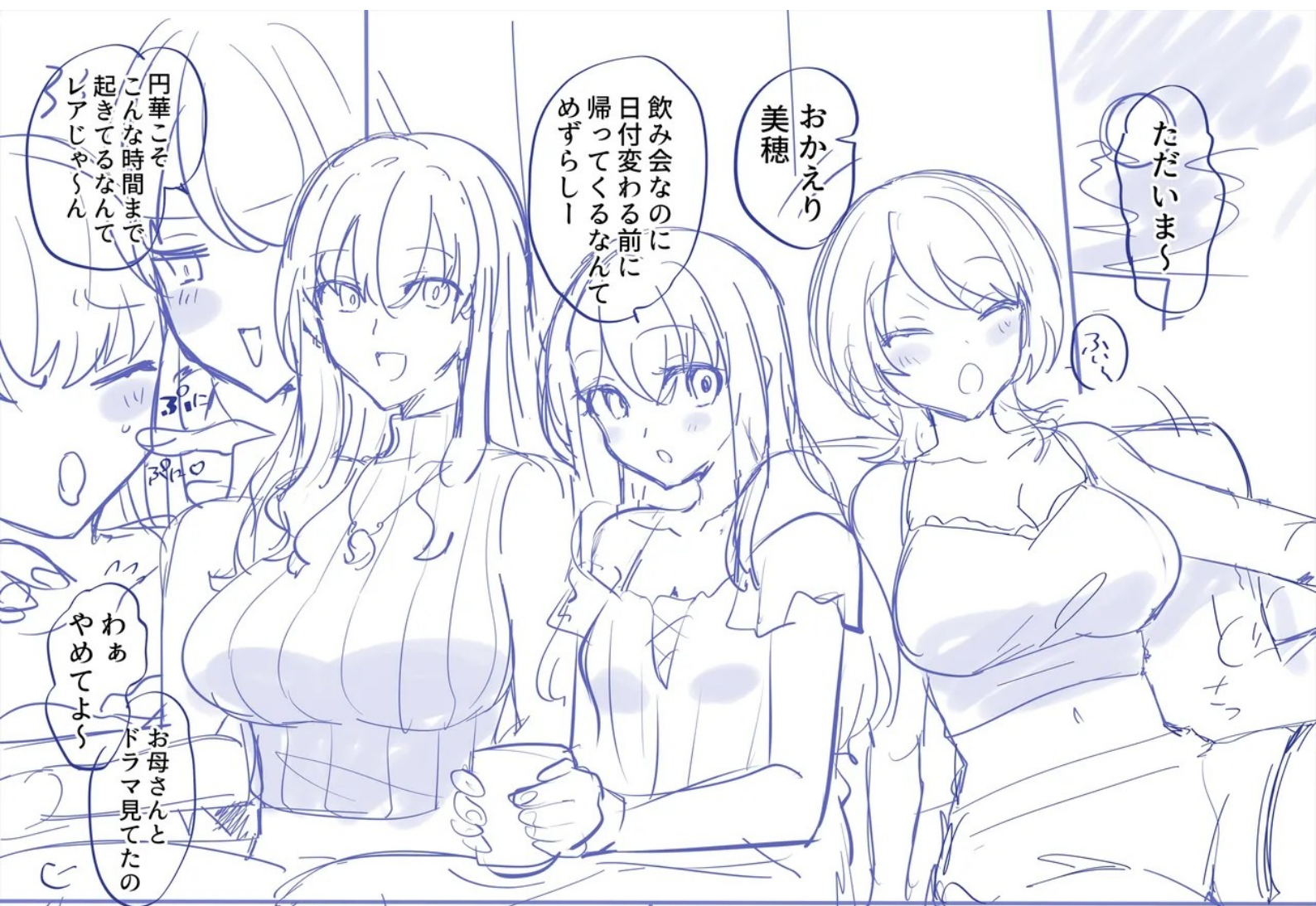






体が勝手に……！
んあ♡

何これっ

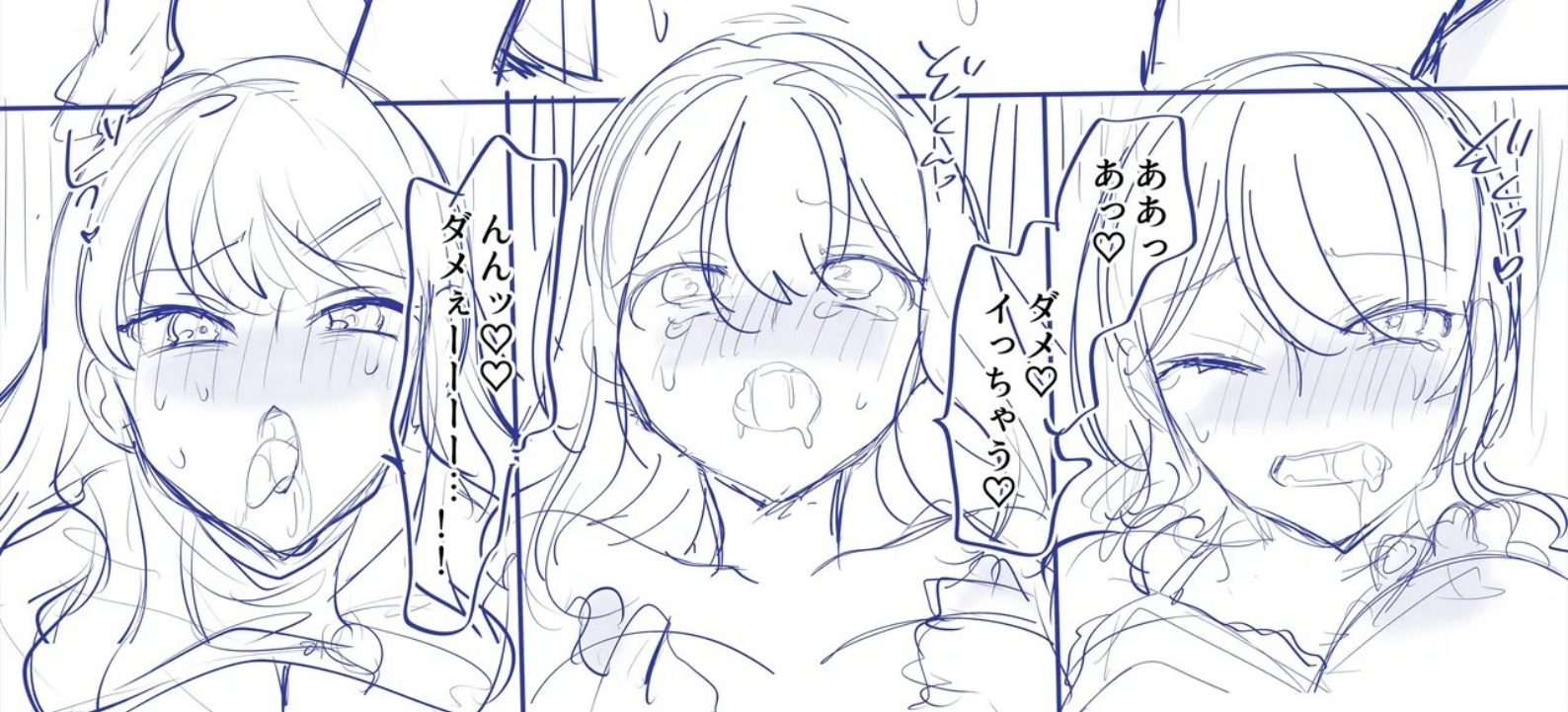


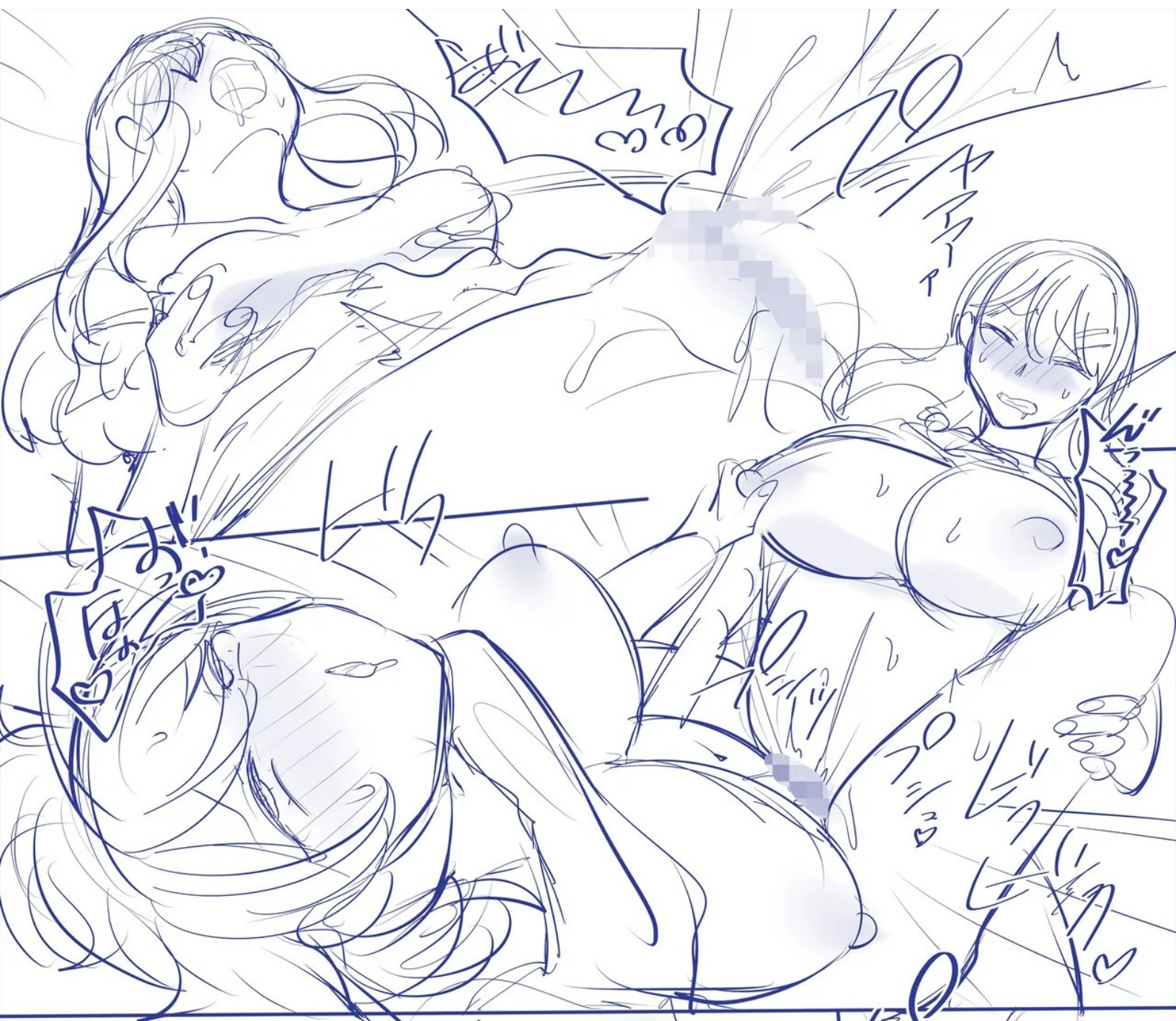
お母さん
助けてっ

いやっ
ああっ♡



くうっ♡
体の中で
何かが疼いてるっ♡
これは一体……！？
んっ♡







3人とも
私の眷属となれ

引きずり
込まれる...ッ

んっ...っ...っ

きゃああ!!

!? 美穂っ

円華!

シ
ー
ウ
ウ

っ
体が熱い……!

頭の中から
だんだん何かが
消えていく……っ!

どうして?!

私は大学生
だったはずなのに……?

私……
私は何か
スポーツをしていたと
思うのに……

それが何か
分からない……

ー
ウ
ウ……

まどか……

おねえちゃん……

ー
ウ
ウ……

やだ
私いつの間に
こんな
濡らして…!

えっ!

わたし
おもらししちゃった?

ママはー?

なんか
体がムズムズ
するよお…

ううっ…
おかーちゃん…

あう…
まーま…

ばぶ…

おぎゃー
おぎゃあ

さあ詩織
次はお前だ…

うぐ…ア

ああ
そんなっ



負けるもん
ですか…!!

もう一度
封印してやるわ!

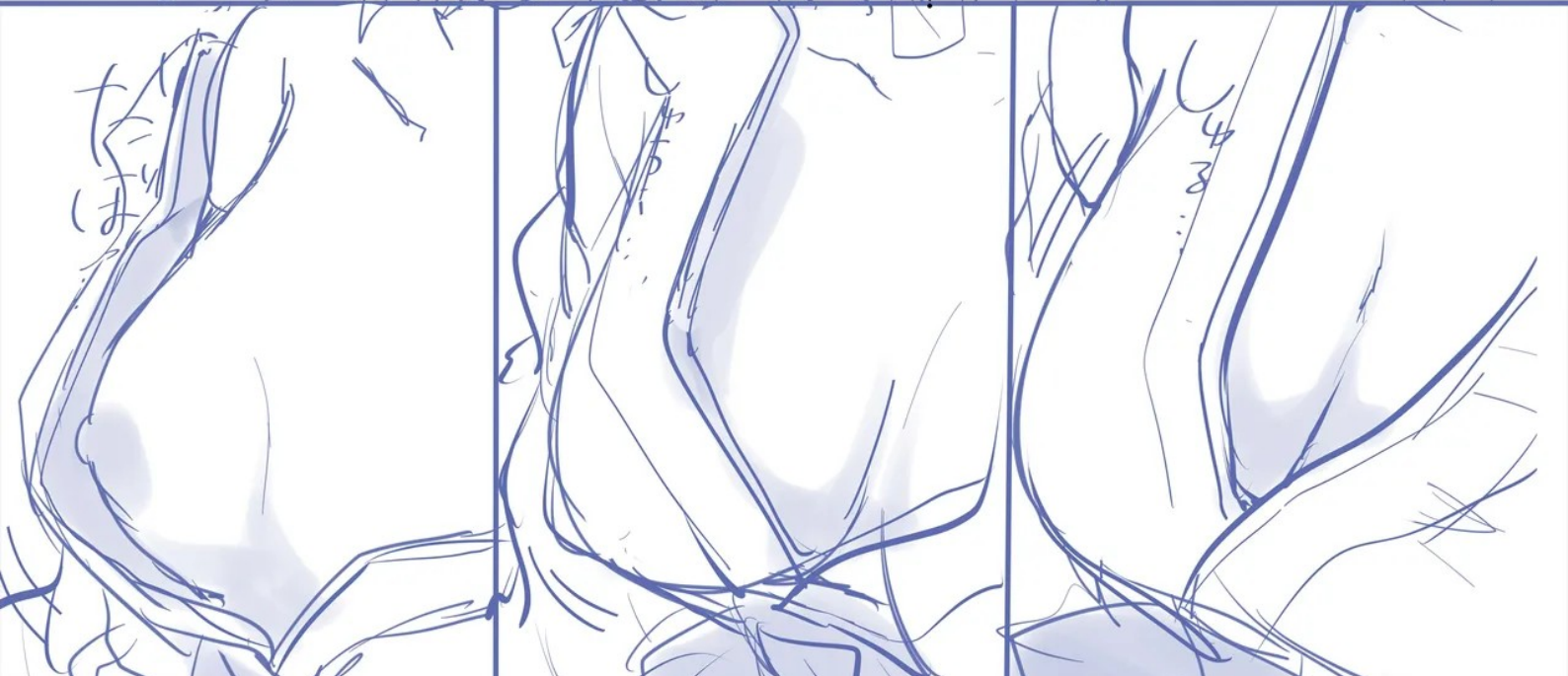
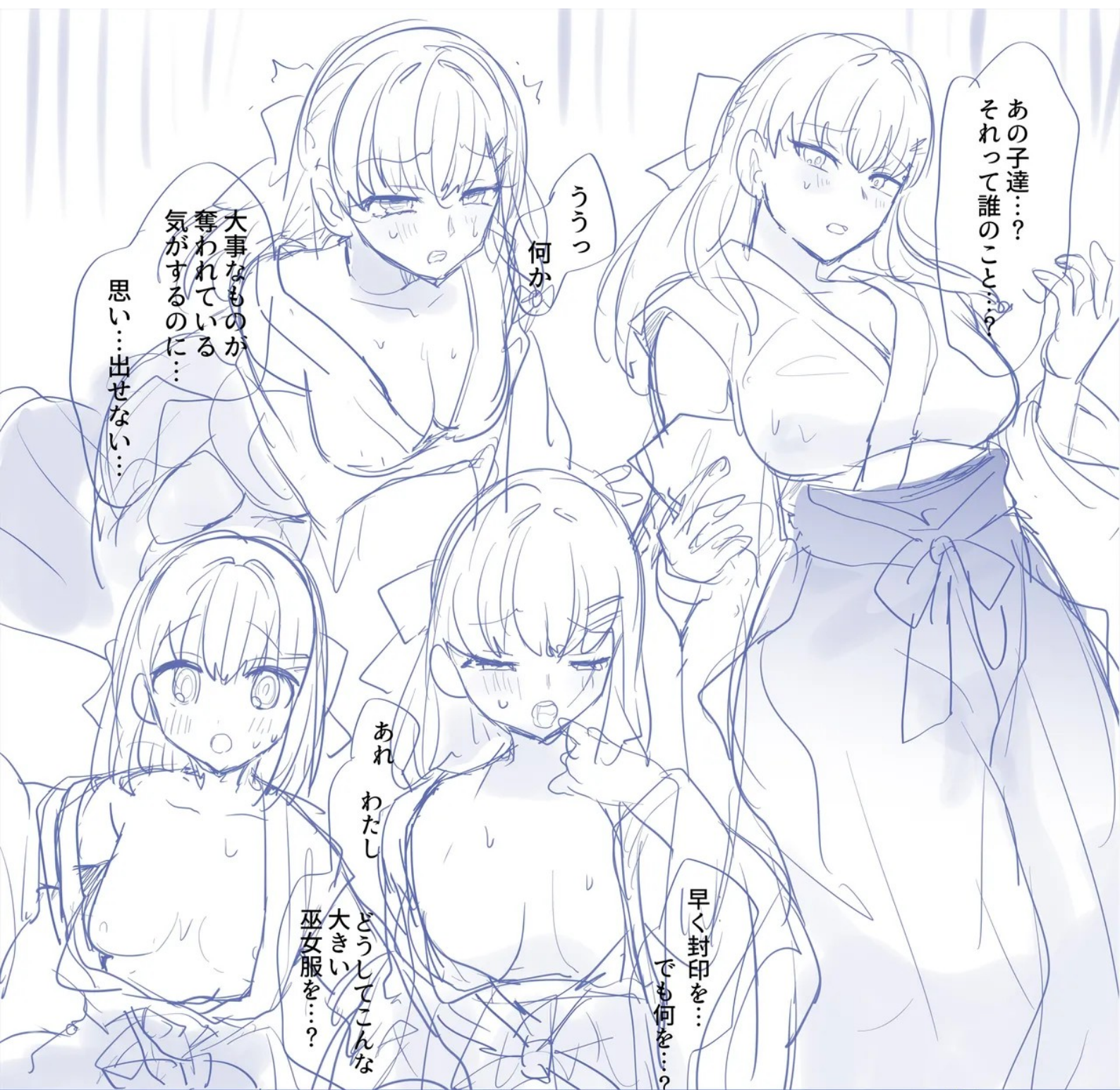
ほう
まだ力を残していたのか
ではその力も全て
いただこう

せ
せめて
あの子達だけでも
守らなきゃ…!

これは…!

私の体に
一体何が…

くっ
力が抜けてく…





私も母さんみたいな
退魔巫女にならなきゃ...

あれ？
「たいまみこ」って
何だっけ...

くくっ...♡
今度は私が
お前たちを
育ててやるう...

じっくりと
時間をかけて...
な♡

わたしはだれ...？
どうして
だれもないの？

ええーん
びええん

END